

開会の挨拶

皆川 雅章 (社会情報学部長)

第17回社会と情報に関するシンポジウムにご参加いただきありがとうございます。

当学部は、開設時から毎年「社会と情報に関するシンポジウム」を社会学、情報学、隣接分野から第一線の講師を招いて開催し、幅広く学際的なテーマで議論を行い、その記録を社会情報学部の紀要『社会情報』に掲載し、成果を公表してきています。今年で17回目の開催となりました。これまで、我々をとりまく環境の変化に合わせてテーマを設定してまいりました。

今回は「都市と情報——地域の変革と再創造に向けて」です。当学部では「情報発信」、「まちづくり」、「地域活性化」などをキーワードとして地元の江別市を中心として地域との関わりを持った活動を続けてきております。昨年度は「次世代ネットサービスを検証する」というテーマで情報技術・サービスの側面からネット社会の現状と将来展望に関する議論を行いました。今回は、それらの技術やサービスを活用し、地域の特徴、資源を生かしつつ、どのように地域社会の変革と再創造を目指すことが可能であるかという視点での議論になるかと思っております。

今回、この分野で活躍されている講師の先生方をお招きすることができました。東北大学から本江正茂先生、専修大学から望月宏先生、愛知東邦大学から岡部一明先生に、ご多忙中、北海道まで来ていただきました。心より感謝申し上げます。

当学部の人材育成に関わる教育目標は、「現代社会において生起する様々な問題を解決するために、『ネットワーク』と『コミュニケーション』をキーワードとして、社会の情報現象の特質を的確に把握し、望ましい社会の実現に向けて情報技術を用いることができる素養を持った人材を育成すること」であります。学生達はすでに様々な形でネットワーク社会との関わりを持っており、言うまでもなく、今後の地域社会の担い手でもあります。その意味でも、このシンポジウムのテーマは、当学部がこのような教育目標達成のための研究を遂行して行く上で、重要なテーマとして位置づけることが出来ると思います。

今日の夕方まで、講師の先生方のご講演をもとに、会場の皆様と活発で有意義な議論を展開していけたらと思います。それでは宜しくお願いします。